

ご使用の際は必ず取扱説明書・ラベル・施工マニュアル等を良くお読みの上ご使用下さい。使用方法や注意事項を守らないで生じた事故についての責任は負うことはできません。ご不明な点は当社へご連絡ください。詳細な内容が必要なときには製品安全データシート(MSDS)をご参照ください。なお、本製品の内容は予告なく変更することがあります。

【適用】 室内壁面・天井面機能性下地塗装

【効果】 消臭・調湿・化学物質などの空気清浄化

【容姿】 既調合一液性 **【荷姿】** 18kg **【光沢】** つや消し

【成分】 木炭混合粉末・アクリルエマルジョン樹脂・水・その他

【警告】 軽度の皮膚刺激・重篤な目の損傷・吸入するとアレルギー、喘息、または呼吸困難を起こす恐れ・遺伝性疾患の恐れ・発ガンの恐れ・長期にわたるまたは反復暴露による臓器(呼吸器、神経、腎臓等)の障害・水生生物に有害・長期的影響により水生生物に有害

【使用上の注意】

- 1.本来の目的以外に使用しないこと。取り扱い後は手洗いおよびうがいを十分に行ってください。
- 2.容器は垂直に持ち上げてください。斜めに持ち上げると取手が外れ、落下事故の危険があります。
- 3.取り扱い作業中、乾燥中ともに換気の良い場所で使用し、必要な防護具(帽子・保護メガネ・マスク・手袋等)を着用し、身体に付着しないようにすること。
- 4.使用済の容器等を廃棄する場合は、関連法規を厳守のうえ、産業廃棄物として処分すること。(排水路・河川・下水・および土壌等の環境汚染する場所へ廃棄しないこと)
- 5.直射日光を避け、高温環境および5℃以下・40℃以上での環境での保管は避け、子供の手の届かないところに保管してください。
- 6.屋外での貯蔵は避けてください。
- 7.未開封塗料は3カ月以内に使用してください(未開封)。開封済のものに対しては期間内であっても保証致しません。
- 8.開封後はできる限り早めに使い切ってください。
- 9.使用前に塗料に異常・異臭があった場合は絶対に使用しないでください。

【緊急時の処置】

- 1.目に入ったときには、多量の水で洗い、できるだけ早く医師の診察を受けてください。
- 2.誤って飲み込んだ場合、ただちに多量の水で吐き出し、できるだけ早く医師の診断を受けてください。
- 3.吸入した場合、空気の清浄な場所で安静にし、必要に応じて医師の診察を受けてください。
- 4.皮膚に付着した場合は、多量の石鹸水で洗い落とし、痛みや皮膚に変化がある場合は医師の診察を受けてください。
- 5.容器からこぼれたときには、ウェス等でふき取るか、乾燥砂・土・おがくず・新聞紙などの紙きれなどで塗料を吸い取り回収すること。

【施工上の注意事項】

- 1.主成分が天然の木炭のため、保管場所によっては木炭の沈殿が生じます。開缶後は、よくかき混ぜて木炭を均一な状態にしてからご使用下さい。
- 2.保管上引火の危険性はありますが、極端な高温での保管は避けてください。
- 3.凍結で変質する恐れがありますので、低温での保管は避けてください。
- 4.塗装場所での気温が5℃以下、湿度85%以上の結露の恐れがある場所、また、換気の悪い場所での塗装は避けてください。
- 5.降雨や降雪、結露の恐れがある場合は、塗装を避けてください。
- 6.飛散防止のため養生は十分に行ってください。
- 7.塗装終了後、刷毛などの用具は早めに洗ってください。また、洗った用具等は塗料の容器の中に放置しないで下さい。
- 8.各種塗装面に塗装を行う場合、事前に付着性を確認してください。
- 9.指やウェス等で塗膜表面を擦ると、白く色が付着する場合がありますので、擦る恐れが予想される場所への塗装はできるだけ避けるか、クロスまたは塗装仕上げを行ってください。
- 10.塗膜面に物を長時間置く場合、塗膜が付着する場合がありますのでご注意ください。
- 11.常時結露または水がかかることが予想される場所、部位への塗装は避けてください。
- 12.希釈は指定された希釈材を使用してください。また、希釈しすぎないようにご注意ください。希釈しすぎた場合、ダレや隠ぺい不足、仕上がりが不良などの原因となります。
- 13.塗装方法として、刷毛とローラーが混在する場合は塗布量、仕上がりが異なり、若干の色相差が出ますので、はけ塗りの部分は希釈少なめで塗装してください。

- 14.塗装後1日以内に雨や結露などの影響を受けると白化、シミが残ることがあります。万が一生じた場合は塗り重ねを行って下さい。
- 15.20℃前後で1時間程度で指触乾燥しますが、塗り重ねは2時間以上置いてください。冬季や寒冷地ではさらに長くおく必要があります。
- 16.汚れや傷などで塗料が必要な時は同一塗料、同一方法で補修塗装を行ってください。
- 17.塗膜性能を十分に発揮させるためにも、塗付け量を守ってください。
- 18.水まわりには水性パテは使用しないでください。
- 19.木炭に含まれる鉄分が表の仕上げ面に出てくる場合があります。
- 20.結露等が発生しやすい環境では、まれに塗膜にカビが発生することがあります。
- 21.塗装する下地に既にカビが発生している場合は、適切な下地処理(殺菌・抗菌処理)を行ってください。
- 22.柱と壁の入隅、出隅、木部との取り合いなどはちりきれを起こすことがあります。
- 23.下地の振動により(地震や構造体の振動、空調設備などの振動)塗膜表面にクラックが発生することがあります。
- 24.本塗料は木炭の吸着特性によって空気中の汚れ等を引き付けやすく、塗装表面に汚れがひきつけられ、汚れることがあります。特に淡色系仕上げ塗料使用時は塗装表面に付着物の色が出る場合があります。
- 25.本塗料の上から仕上げを行う場合は12時間以上養生を行ってください。施工環境・気象条件等によって養生時間が長くなる場合があります。また、仕上げを行う前には、必ず塗料の表面の塗料のブツや異物は、金へらなどで除去してください。段差がある場合は、薄付けパテで段差処理を行ってください。
- 26.一回の塗装量が多い場合や塗装間隔が短い場合は乾燥後、ひび割れを起こすことがあります。また、塗装時の急激な乾燥により塗膜ひび割れを起こすことがあります。(真夏の直射日光や除湿による過乾燥及び冬場の暖房器具による急激な乾燥は避けてください)
- 27.本塗料の塗装後、塗布面の近くでのサンダー等による切断、研磨作業から発生する錆もしくはその錆が付着した状態の手で本塗装表面に錆を付着させないでください。仕上げ表面に錆が発生することがあります。
- 28.換気不足の場合、繰り返す結露の結果、カビが発生しやすくなるので、施工後の換気はこまめに行ってください。
- 29.作業後塗りムラを点検し再施工時は広い面で補修を行ってください。
- 30.本塗料の塗装後に専用中塗材を塗装することで、仕上げ材の色かぶり、木炭に含まれる鉄分などの不具合を軽減することができます。
- 31.専用中塗材については別紙標準仕様書参照してください。
- 32.新しいモルタルやコンクリート面の養生は十分に行ってください。含水率10%・PH10以下で塗装してください。(コンクリートで20日以上、モルタルで15日以上経過が目安です)
- 33.コンクリートやモルタル面で旧塗膜の劣化が著しい場合や、吸い込みの著しい面には、下塗りにシーラーを塗装してください。
- 34.藻、カビがある場合は、あらかじめ殺菌剤および抗菌剤で処理後、水洗いを行い、十分に乾燥させてから塗装してください。
- 35.タバコのヤニやシミの多い箇所はあらかじめウェス等で水拭きし、塗装面を十分に乾燥させてから下塗りにヤニ・シミ止めシーラーを塗装してください。
- 36.油污れが著しい場合は、はがれ、ワレの原因になることがありますので、中性洗剤などで十分に油分を除去してから塗装してください。
- 37.ヤニ・シミ等が完全に除去できない下地はエポシーラーを使用してください。
- 38.既存塗料で塗装する場合は、脆弱な旧塗膜は、完全に除去してください。
- 39.既存クロスにて塗装を行う場合、クロスは完全に除去してください。
- 40.各種下地に合った下地調整を行い、塗装を行ってください。
- 41.下地がつつやりの素材の場合、条件によってはワレが発生することがありますので、予め試し塗りを行って確かめてください。

改訂20200901

アーテック株式会社
〒856-0804長崎県大村市大
TEL0957-47-9110 FAX09

室内環境改善用木炭塗料 ヘルスプロテクト (水性タイプ)
標準塗装仕様

2	下塗り	下地にあった処理を行ってください。 水性マイティシーラーマルチの場合	—	刷毛・ローラー	0.11~0.14	1	—	1h以上
---	-----	---------------------------------------	---	---------	-----------	---	---	------

3	上塗り	ヘルスプロテクト 水性タイプ () 希釈・洗浄は水を使用してください。	3% 未満	刷毛・ローラー	0.15	2	1h以上	12h以上
4	仕上げ	各種仕上げ材マニュアルによる クロス仕上げ・・・通気性クロス カラー塗料仕上げ・・・化粧塗料(必要に応じてカラー仕上げ専用中塗材を使用してください)						

改修(通常仕様)

工程	商品名	希釈率	塗装方法	標準使用量	塗装回数	塗装間隔	養生	
1	素地調整	下地に合わせた下地処理・ジョイント処理・段差処理を必ず行ってください。マニュアルを参照してください。 既存クロスの場合はクロスの除去、既存塗装の場合は旧塗膜の除去を行ってください。						
2	下塗り	下地にあった処理を行ってください。 水性マイティーシーラールマルチ 又は水性マイティーヤニ止めシーラー	—	刷毛・ローラー	0.11~0.14	1	—	1h以上
3	上塗り	ヘルスプロテクト水性タイプ () 希釈・洗浄は水を使用してください。	3% 未満	刷毛・ローラー	0.15	2	1h以上	12h以上
4	仕上げ	各種仕上げ材マニュアルによる クロス仕上げ・・・通気性クロス カラー塗料仕上げ・・・化粧塗料(必要に応じてカラー仕上げ専用中塗材を使用してください)						

新設(SUMICAS仕様)

工程	商品名	希釈率	塗装方法	標準使用量	塗装回数	塗装間隔	養生	
1	素地調整	下地に合わせた下地処理・ジョイント処理・段差処理を必ず行ってください。マニュアルを参照してください 下地構造は木造(木造構造)としてください。非木造構造(軽鉄石膏ボード、RC・鉄筋構造)の場合は、必ず下地絶縁処理を行ってください。						
2	下塗り	非木造構造(軽鉄石膏ボード、RC・鉄筋構造)の場合は絶縁シーラーまたは絶縁シート		別途資料参照				12h以上
3	上塗り	ヘルスプロテクト水性タイプ () 希釈・洗浄は水を使用してください。	3% 未満	刷毛・ローラー	0.15	2	1h以上	12h以上
4	仕上げ	各種仕上げ材マニュアルによる クロス仕上げ・・・通気性クロス カラー塗料仕上げ・・・化粧塗料(必要に応じてカラー仕上げ専用中塗材を使用してください)						

改修(SUMCIAS仕様)

工程	商品名	希釈率	塗装方法	標準使用量	塗装回数	塗装間隔	養生	
1	素地調整	既存クロスの場合はクロスの除去、既存塗装の場合は、旧塗膜の除去を行い、下地に合わせた下地処理・ジョイント処理・段差処理を必ず行ってください。マニュアルを参照してください。 下地構造は木造(木造構造)としてください。非木造構造(軽鉄石膏ボード、RC・鉄筋構造)の場合は、必ず下地絶縁処理を行ってください。						
2	下塗り	非木造構造(軽鉄石膏ボード、RC・鉄筋構造)の場合は、絶縁シーラーまたは絶縁シート		別途資料参照				12h以上
3	上塗り	ヘルスプロテクト水性タイプ () 希釈・洗浄は水を使用してください。	3% 未満	刷毛・ローラー	0.15	2	1h以上	12h以上
4	仕上げ	各種仕上げ材マニュアルによる クロス仕上げ・・・推奨クロス カラー塗料仕上げ・・・化粧塗料(必要に応じてカラー仕上げ専用中塗材を使用してください)						

必ず取扱説明書・ラベル・各施工マニュアル等を良くお読みの上ご使用下さい。使用方法や注意事項を守らないで生じた事故についての責任を負うことはできません。ご不明な点は当社へご連絡ください。なお、本製品の内容は予告なく変更することがあります。